



何故、振袖アイデンティティなのか…

こんにちは、初めまして

振袖アイデンティティのタクジュンこと匠潤一郎です。実家が父が一代で作上げた結構有名な呉服店を営んでいました。僕も小さな頃から父の背中を見て育ち大学を卒業して東海地区の呉服店に就職し（昔で言えば丁稚奉公）そこで呉服のいろはを学び、大きな売上を取れるようになり実家の呉服店に入社して専務にその頃は10億ほどの売上を作っていました。その頃は、売上をあげることだけに邁進していた自分にふと「小さい時から思い描いて来た呉服を選んでいるお客様の笑顔が好きで父の呉服店に入るとお客様が喜び幸せを感じている姿を見るのが誇らしかった」と思って来たことが全く違う方向に進んでいるという感覚が頭をもたげ始めていました。



匠潤一郎 (タクジュン)

時を問わず2000年初頭、国の政策で割賦販売法の規制が進み、当時呉服を現金で購入している人がほとんどなく急激に呉服離れが始まり呉服業界に暗雲が立ち込め始めました。

割賦販売が出来ずに毎年前年を大きく下回る売り上げしか形計上出来ず、何度か新業態へのトライも試みましたが、とうとう実家の呉服店は倒産し、お客様に似合う呉服を進めることは変わらないが、呉服は高いから当たり前だとの認識でどれだけ高価なものをお勧めできるかという社風に自分自身も染まっていたと思いました。

2010年代には、貸衣装&写真館を可児市に開業し、呉服店の時の自分自身の考え方をもう一度なんどもなんども顧みることをしました。

その中で、呉服（着物）の和文化をもう一度成人式の若い皆さんに伝えたい、無理な販売はしない押し付けもしない、お客様の笑顔の為に我々スタッフもお客様の喜ぶ笑顔を見る為に全身全霊を捧げてこの仕事に向き合おうと心に決め、再出発を計りました。

開業して2年目忘れもしません。お母さんと成人式を迎えるお嬢さんが大事そうに風呂敷包みを持ってご来店されました。



恐る恐る私どもに声をかける様子に 何か事情があるに違いないと直感し私自身がお話を伺うと
どうやらそのお母さんはお嬢さんが小さな時に離婚して女手一つでお子さんを育てて来たけど
小さな子供さんの世話もある中パート勤務しか出来ずなかなか厳しい暮らしをしているとのこと
でした。

ただお母さんがお母様の形見に譲り受けた振袖を持っているとのことで その振袖を娘さんの成
人式に着せたいけど娘が「古臭くて嫌だ」と言い張るので どうにかできないものだろうか？と
周りの友人に聞いたら、あのお店はもともと呉服屋さんで写真館でもあるし、皆さん親切なんで
相談して見たらという理由でのご来店でした。

お母さんの困った顔とお嬢さんのちょっと不服そうでそれでいて泣きそうな顔をみてなんとかし
てあげようと決心しました。

古典柄の振袖をお嬢さんに袖を通してもらいました。お祖母様が大切にしていращたのが伝わっ
てきます、お母様もこの振袖をきて成人式をされた様でなんとか娘に受け継いで欲しいという願
いも伝わってきました。

袖を通してもらいましたがお嬢さんは暗い表情、少しづつ好きな色目を聞いたり、どんなファッ
ションが好きなのかななどを聴きながらまずは、こちらに慣れてくれる様に対応しました。少しづ
つ、そのお嬢さんの肌質、肌のいろ、髪色などから、好きな帯を選んでいただき、そして半襟、
帯揚げと進んだところ お嬢さんの表情がある時点でパッと明るくなりました。

「どうですか？」とお尋ねすると「なんか思っていたより全然いいかも」との答え、そこから何
度も何度も何度も時間をかけてその親子と一緒に小物選び試着を繰り返しました。

最後にヘアスタイル、ヘア髪飾りを決めた時に 僕にあるアイデアが浮かびましたお店に置
いてあるものではなく 独自の小物を用意してみようと思ったのです。

その日は、約4時間あまりの時間を使い、また2週間後に来店していただくことにしました。

その2週間の間に その子に似合う半襟と帯揚げをスタッフの皆さんと何度も話あい、名古屋の
布地屋に出向きいろんな素材のものを購入し手作業で作り上げました。



2週間後に親子でご来店いただきました。前回ご来店の様子とは打って変わって二人とも笑顔でのご来店です。この親子の笑顔は、私が小さな頃から求めているお客様の笑顔に他なりません。思わずこちらも嬉しくなりました。

独自にカスタマイズした半襟と帯揚げを振袖に合わせると お嬢さんの喜び様は、お母様にも私どもにもどんどん伝わってきました。

何度も何度も鏡の前で全身を見ているお嬢さんの姿からは、あの最初の訪問の時の様子は微塵もありません。

袖を通して振袖を触る触り方も愛おしさが出て丁寧に触っていらっしゃいました。

そしてその喜びの姿は、私たちのお店の基本の指針となりました。

本番を迎えた、成人式当日 お嬢さんは胸を張ってご来店いただき、カスタマイズした振袖を笑顔で着ていただきました。その時にそのカスタマイズされた振袖をみて、同じ時間帯に来店いただいた他の成人式を迎えるお客様からも「わ～素敵」という声が出ていました。

トータルカスタマイズ、半襟と帯揚げ、帯留めなどみて 素敵素敵わ～私もこれやってみたいなどの声が上がりました。

お嬢様の誇らしげな表情、それを見ているお母様の目には感動の涙が…それを見ている私自身も目頭が熱くなるのを感じ、これからはこんなに喜んでもらえる振袖コーデをして行くことを心に誓いました。

この声を反映して当店では、長い時間をかけていろんな振袖を着ていただく、またレンタル契約でご入金していただいたお客様には、撮影代とアルバム代は別途になりますが 成人式までに何度でも振袖チェンジOK というシステムも作っています。

そしてコロナ禍でも振袖を体験していただける様にリモート対応を始めました。全国津々浦々振袖アイデンティティの唯一無二の振袖コーディネートをとお楽しみいただけたらと思い 振袖アイデンティティをブランドとして立ち上げました。(現在、振袖アイデンティティ商標登録出願中)

他店では、この着物にはこの帯、小物は決まったものをお渡しされるところもあると聞いていますが、当店振袖アイデンティティでは、お客様にあったコーディネートをとことん探してカスタマイズを体験いただき、着物の良さを感じていただくをモットーにして接客をしています。



大正時代、日本女性がどんどん社会進出するようになり、キモノファッションにも独自のアイデンティティを取り入れました。コーディネートを楽しむ為の半襟だけを扱う『半襟屋』などで自分だけのオシャレを満喫しました。

まさにキモノの楽しさはコーディネートです。

もちろん古典柄、ママ振り、キラキラ、モダン、オーダー購入、そして最新の量産型女子振袖まで全てお客様のご要望に対応できるその道のプロのスタッフが皆さまをお待ちしてもっともご本人に似合う振袖コーデを作り上げています。

振袖アイデンティティで「私も知らない私に会う」体験をして見てください。

当店のスタッフの全員で取り組んでいることは、とにかく自分たちも楽しむ、このことがご紹介したいポイントです。お客様も楽しんでスタッフも楽しむ笑顔や笑い声が絶えません。お客様もスタッフもお店を出るまでずっと笑顔なんです。

おかげさまで地域シェアは4割近く、またご来店も口コミで98%の方が翌年ご来店頂いています。このお客様を笑顔に 一生に一度の振袖体験のお手伝いを 共に体験したいと思う全国の美容室、カメラマンの皆さんにも一緒に参加を呼びかけることにしました。

その為の振袖コーディネートの文章マニュアル、動画マニュアル、振袖、帯、カスタマイズ小物の提供、また集客の為のノウハウ、SNS 発信集客、DM 集客と運用の仕組みとシステムの提供、さらにスクール事業の準備も進めて 2024 年 7 月に新会社の設立を予定しています。

今では、呉服店、美容室、その他の美容業界から振袖レンタルの部門を新設したり、お客様やスタッフが楽しく売上をあげるためのコンサルタントに入っていたりします。

興味のある全国の美容院、カメラマンさんは、ぜひ一度当店振袖アイデンティティまでお問い合わせください。

お問合先	会社名	振袖アイデンティティ (ミッシェル・アンジュ)
	所在地	岐阜県可児市下恵土 5566-1
	電話番号	0120-033-753
	営業時間	10:00 ~ 18:00
	休業日	水曜日